

授業科目 アスレティックトレーナー論

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	スポ	
柵 木 聖 也		開講時期	前期	必修・選択	選択	
		単位数	2	時間数	30	
【概要・一般目標 : G10】 アスレティックトレーナーを目指す学生にとって、最初に必ず理解すべき基本的事項（業務内容、他のチームスタッフとの連携協力、組織運営と管理、倫理規定等）について理解する。						
【学習目標】 アスレティックトレーナーを目指す学生にとって、学ぶべき事項は非常に多い。本講義はそれらの事項のうち、まず最初に学び理解する必要のある基本的事項について解説する。具体的には、（1）日体協公認スポーツ指導者制度における公認アスレティックトレーナー養成事業の歴史的背景やその設立趣旨、位置づけ （2）諸外国のトレーナーの業務や資格制度、内容 （3）我が国におけるアスレティックトレーナーの担うべき任務とその役割 （4）他のチームスタッフとの連携・協力の意義と重要性 （5）スポーツ組織の運営方法とその組織内での健康管理に関する各種データの収集とその管理、が学習内容となる。						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	アスレティックトレーナーとは（1）日体協における養成事業の概要					
2	アスレティックトレーナーとは（2）我が国のアスレティックトレーナーの歴史的背景					
3	アスレティックトレーナーとは（3）トレーナーの起源と諸外国の実情との比較					
4	アスレティックトレーナーの業務（1）アスレティックトレーナーの任務、役割					
5	アスレティックトレーナーの業務（2）アスレティックトレーナーの具体的業務内容					
6	チームスタッフとの連携・協力（1）サポートチームにおけるメディカルスタッフ					
7	チームスタッフとの連携・協力（2）コーチ、ドクターの役割とその連携・協力					
8	チームスタッフとの連携・協力（3）その他のチームスタッフとの連携・協力					
9	組織運営と管理（1）スポーツ組織全体に対する理解					
10	組織運営と管理（2）アスレティックトレーナーの組織・体制づくりとその運営					
11	組織運営と管理（3）記録およびデータ採取の必要性とその方法					
12	アスレティックトレーナーと倫理（1）社会全体を支える秩序					
13	アスレティックトレーナーと倫理（2）アスレティックトレーナーの社会的立場と貢献					
14	アスレティックトレーナーと倫理（3）アスレティックトレーナーに求められる倫理観					
15	まとめ					
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		公認アスレティックトレーナー 専 (財)日本体育協会 (財)日本体育協会 門科目テキスト1～9				
参考書						
その他の資料						
【評価方法】 レポート			【履修上の留意点】			